

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。立春が過ぎたとは言え、寒い日が続きます。くれぐれもご自愛ください。

日常会話の中に登場する仏教用語をお伝えしているかわら版。

少しでも読者の皆さんのお役に立つよう、今年も精進します。

寒い中を武道やスポーツの世界では寒稽古を行い、精進します。寒中水泳というのもありま

すね。想像しただけで寒くなります。皆さん、すごいですね。頭

が下がります。

ここまでで二度も登場した「精進」、これも仏教用語です。

「精進」という言葉は、お釈迦さまが初めて行った説法「八正道」(八つの正しい道)の教えの

中に登場します。

具体的には「正見」「正思」「正語」「正業」「正命」「正精進」「正念」「正定」の八つ。それぞれ

仏教的には深い意味があります

が、あまり難しく考えないでください。例えば「正見」は邪(よこしま)な考え方を持たないこ

と、「正語」は人の悪口を言わ

ないこと等々、漢字の意味から直感的にイメージできます。

「精進」は「努力する」という意味で使われますので、「正精進」はつまり「正しい努力」。

しかし、この「正しい努力」とは具体的にどのような努力なのか。それが難題。自分で「正しい努力」だと思っていること

が、他人や社会にとっても「正しい努力」とは限りません。も

ちろん、他の「八正道」も、いったい「何が正しいのか」という

ことが難しい点です。

「八正道」という教えで説かれている「正」とは、結果や損得

を優先してしまう人間の身勝手な判断基準による「正しさ」で

はなく、「偏りのない正しさ」のことを指しています。

人間には「あれが欲しい」「これが欲しい」「あなりたい」「こ

うなりたい」という「欲」「こだわり」の気持ちがあります。

「正精進」は「欲」や「こだわり」を乗り越える努力とも言えます。

「精進料理」の「精進」もこの「精進」。仏教には「不殺生戒」(生

き物を殺してはいけない)とい

う戒律があります。それを実践する「正しい努力」のために、野菜だけで作るのが「精進料理」。

でも、植物も生き物。「不殺生戒」の実践は不可能とも言えます。

仏教では「偏りのない正しさ」を求めます。「正精進」とは一生懸命努力するだけでなく、「偏りのない正しさ」を身に着ける

努力、つまり「欲」や「こだわり」を乗り越え、結果に囚(とら)われない努力を指している

のかもしれない。

スポーツでも、勉強でも、仕事でも、みんな一生懸命努力します。努力は良いことです。結果や損得をあれこれ考えることなく、「欲」や「こだわり」に

囚われずに「正精進」すると、結果はついてきます。皆さんの努力が実ることを祈念します。

今年のかかわら版も「精進」「精進」。それでは皆さん、また来月

お会いしましょう。

※

※

※

※

※

かわら版執筆者大塚耕平

王山「耕庵」 <https://ko-an.blog/>

知県名古屋市生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、中学校を卒業。2002年から地元の歴史・文化と振興のために、日泰寺の縁日(毎月21日)に「弘法さんかわら版」をお配りしています。2013年から知立遍照院の縁日でも「弘法さんかわら版」がスタート。

全国先達会、愛知県先達会、東日本先達会などで仏教関係の講演を行っているほか、毎年年末には日泰寺西隣の専修院で「弘法さんを語る会」を開催。中日文化センター「くらしの中の仏教」講座の講師も務めています。

著書に「弘法大師の生涯と覚王山」、「仏教通史」、「四国霊場と般若心経」(大法輪閣)など。

愛知県立旭丘高校、早稲田大学・大学院を経て、日本銀行に18年間勤務した後、2001年から参議院議員。元内閣府副大臣・厚生労働副大臣。

現在、早稲田大学と藤田医科大学の客員教授を兼務。元中央大学大学院客員教授(2005~17年)。早稲田大学博士。

大塚耕平事務所 ☎052 757 1955 担当:あさい

名古屋市千種区覚王山通9-19 覚王山プラザ2F

